

令和7年度 第2回 大阪市立大開小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立大開小学校

校長名 麥田 葉子

日時	令和7年12月1日（月）16時～17時	
場所	本校4階多目的室	
出席者	委員など	禪定貞男（会長）田中城明（委員）大谷有二郎（委員）橋本真寿美（委員） 大部雄三（委員）岩崎美香（委員）山本聡子（委員）
	校園	麥田葉子（校長）熊澤早枝子（教頭）佐藤彰（教務主任）角野真介（首席）
	区役所	辻 珠巳（福島区役所保健福祉課 課長代理）
議題	令和7年度運営の計画（中間）について 学校行事の進捗について 学校支援について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	<ul style="list-style-type: none">・学校の設定した目標と、それを達成するための取り組み内容は適正かどうかを協議した。取り組み内容や学校独自のアンケートによる評価結果から判断すると目標通りに達成できていると認められた。 （詳細）・いじめ対策委員会は定期的を開いており、全教職員の共通理解を図っている。今年度に入り、臨時でいじめ対策委員会は開かれていないので、大変な事態には至っていない。・教員が輪番制で図書室を開放する取り組みを始めた。少しでも図書に触れる機会を多くするために担任や図書委員会、地域の図書館の協力を得ながら、楽しい取り組みを継続していく。・児童理解においては様々な角度から複数の教職員によって進める。区役所の各課やSC・SW、地域や進学先中学校とも連携していく包括的に支えていく。・教員が指導する場合には、感情的にならず、説明ができるように意識して指導する。・継続して指導を続けている。家庭でできることを呼び掛けていくことも考慮する。	<ul style="list-style-type: none">・運営に関する計画の中間報告は概ね計画通り進めている。 （学校が楽しいと感じられるような体験を用意していることなどが学校の魅力につながっている） （詳細）・いじめに対する取り組みを行っているが、児童の実態はどうか。手に負えない状態の事案はないかを常に気にかけている。・読書活動の推進をするために、どのような働きかけを行っているのか。読後の感想などを書き、児童同士の交流の場を持ってほしい。・児童アンケートの結果を考察していると聞いたが、否定的な意見を持つ児童への対応はどのようにしているのか。・教員による体罰や暴言が注目されることがあるが、叱るべきことはしっかりと叱って、正しい行いを身につけられるように導いてほしい。・挨拶や言葉遣いなど、場にふさわしい態度がとれるようにしてほしい。
協議資料	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度 運営に関する計画（中間）・教員の時間外勤務時間の状況	<ul style="list-style-type: none">・学習者用端末利用状況・児童アンケート
備考	傍聴者[1]名（区役所）	